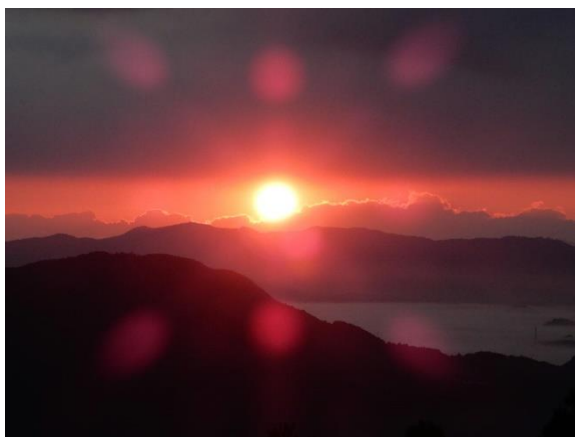


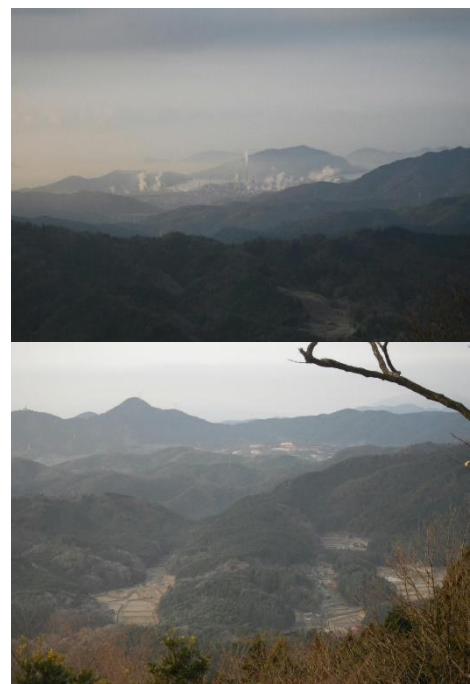
# 大道理かわら版 むくろじ

## 二〇一六年元旦。大高山山年頭登山



平成28年元旦。大高山山頂から仰ぐ来光です

平成二十八年、一月一日。雪のため、昨年は中止となっていた、「大高山山年頭登山」でしたが、今年は天候に恵まれて開催され、山頂から清々しく美しいご来光を仰ぐことが出来ました。



写真上は周南工業地帯を臨む眺望です  
写真下は大道理横川地区周辺風景です

伝統といっても過言ではないくらい、長く行われて来た行事だということをお聞きしました。年頭登山初参加で、大高山山登山自体も初めてのことでしたが、山頂からの眺望の美しさはとて感動的でした。夜が段々と明けていく過程で、次第に眼下の景色が明らかになって行き、雲海が広がっている様子を初めて見た時、胸が高鳴りました。そして、日の出前。山の稜線が次第に赤くなり、ご来光が顔を覗かせた時の神々しい美しさ。日が昇り、下山前に南側へ足を運んでみると、近景では大道理地区内の風景を見ることが出来、遠く南から西側には周南工業地帯や、瀬戸内海を望む眺望が広がります。山口百名山の一つでもある、大高山には、その眺めの良さ、登りやすさから、毎年多くの登山愛好家の方が訪れています。

## 「美しい眺望、安全な登山」を支える方々



大高山を守る会と大道理体育振興会の皆さん

二〇〇二年、「大高山を守る会」が発足し、二月、六月、九月、十二月の年四回、登山道、山頂周辺や展望所の草刈り、倒木の片付けなどの活動をされています。十二月は大道理体育振興会との合同作業です。

年頭登山のため、真つ暗な山道を、懐中

電灯片手に登りましたが、守る会の方々が山を綺麗に整備して下さいているお陰様で、安全に山頂に辿りつくことが出来ました。山から下りる時にはもう、すっかり明るくなって、登っている時には分からなかった、周囲の景色を見ることが出来ました。その時に感じた印象は、「本当にきれいにされているなあ」というものでした。会員の方が山道整備をされている時、大高山に登られている方と出会い、「いつも綺麗にして下さってありがとうございます」という感謝の言葉を頂いたというお話も聞きました。今回の「むくろじ」は、登る方が安全で気持ちよく大高山を守る会」の皆さんの活動について、会員の方からお聞きしたお話をもとに、お伝えしていきます。

## 「大高山を守る会」発足のきっかけ

「大道理には大高山山ちゆう山口県百名山に選ばれちよるええ山がありますいね」と、大道理地区外の山登り好きの人に言ったら、「大高山は草ぼうぼうで山頂からの展望も悪いから登らん」と言われてしまいました。てつきり「ええ山じゃね、登ってみよう」といって、褒め言葉が返ってくる勘違いしていました。二〇〇二年に、「こりゃーいけん、自慢できる山にして大高山を守る会」を発足しました。(会員さん談)

発行元  
大道理夢求の里交流館  
運営協議会  
TEL : 0834-88-1830  
平成28年  
2月1日号  
(No.10)



大道理地区の世帯数と人口

世帯数	188世帯
人口	399人
男性	181人
女性	218人

(平成27年12月31日現在)

## 「大高山を守る会」活動の歴史

現在、展望所からは、大道理地区内や周南工業地帯、瀬戸内海を望むことができますが、発足のきっかけとなったエピソードでもお聞きした通り、当初は草や木が生い茂っていました。会が発足した二〇〇二年(平成十四)年、登山口に案内看板を設置され、展望所の開拓をされました。その後の主な活動としては、二〇〇三年、海軍施設の表示板を設置、展望所にベンチ設置、登山記帳簿作成、登山案内マップの作成をされ、翌年の二〇〇四年、山頂にベンチを設置されました。



椎茸の原木を設置する作業風景です

二〇〇五年には、登山されたい方にご自由にお持ち帰り頂ける無料椎茸の原木を設置。二〇一三年、展望所に眺望図設置。二〇一四年、無料椎茸の原木を設置。と、登山される方が、安全に登山し、なおかつ大高山の魅力を感じて帰られるよう、整備活動がされています。



2013年9月に行われた、眺望図設置工事の様子です



眺望図が出来上がり、展望所から、どこを眺めているかがパッチリ分かります！



2013年9月に行われた、定例作業での資材運搬の様子です

右の写真は、二〇一三年、展望所に眺望図を設置された時のもので、上の写真は、二〇一三年九月の作業時での資材運搬の様子を写したものです。皆さんが工事の資材を山頂まで持ってくる様子が伝わってきます。

## 活動の中での大変なことは？

会員さんに、活動される中で大変なことについてお聞きしたところ、「重い草刈り機やチェーンソーなどを担いで作業しながらの登山ですから、山に登るのに一苦労です。加えて、内輪の話ですが、燃料や刃は会員の自腹ですから、参加していただく会員さんには頭が下がります」と、教えて



定例の草刈り作業の様子です



倒木を片付けておられます

## 特に印象に残るエピソードは？



山頂からは遠く、大分の国東半島を望めます！

それから、活動をされていて、印象に残っていることについて、一つ、挙げて下さいました。「展望所から徳山湾を見ていて、「水平線に見えるホツトケーキみたい大きな黒い影は何？雲？」調べたら大分県の国東半島だったんですね。そんな遠くまで見えるのは驚きでした。空気が澄んだ天気の良い日は見ることが出来ます。」



「登山記録帳」。登山者の方からの感謝の言葉が綴られています

登山者に自由に書き込んでもらうため、山頂に登山記録簿を置いてあります。手前味噌で恐縮ですが、「よく登山道が整備されている」とか「登山道を整備していただきありがとうございます」と書いたり嬉々としています。」

## 山への思い、活動への思い

最後に、活動をされている中での思いをお聞かせ下さい、とお伺いしたところ、「太平洋戦争時、大高山には、海軍燃料廠徳山警備隊の聴測照射所として、調音機と一五〇センチ探照灯が備えられ、海軍兵士が徳山要港の防備にあたっていました。今も山頂周辺には指揮所・探照灯の台座・調音機台座・兵舎跡・発電所跡が残っています。戦後七十年が経ち戦争を知らない人がほとんどになっており、戦時中に使用された遺構が草木に覆われて、不幸な戦争が忘れ去られてしまわないようにしていきたいと思っています。」と、お答え下さいました。また昨年十月に「大高山を守る会」の会長になられた秋貞尚幸さんは、「大道理の方にとって愛着のある大高山を、これからも引き続き、安全で美しい山として登って頂けるよう、活動していきたい」とそれぞれお話しくださいました。お忙しい中、沢山のことを教えて下さり、ありがとうございました！



# 「新年会 新成人と還暦を祝う会」賑やかに開催!

一月十日、大道理夢求の里交流館で、「大道理地区新年会 新成人と還暦を祝う会」が開催され、新成人となられた二人の方を含む五十三人の方が参加されました。

この日、木村健一郎周南市長が会にご臨席され、「未来に向けてのびゆく周南市、大道理地区を「共に」つくっていきましょう」と、力強い「あいさつ」の言葉を述べられました。



新成人の井原有唯さん(左)、坂口佳菜子さん(右)、木村健一郎周南市長(中央)



現在のご自分のこと、そしてこれからの抱負、夢について、皆さんの前でお話される井原さん、坂口さん。

今回の新年会には、大道理地区の二人の新成人の方がご参加され、お二人は、それぞれ、二十歳となった今のご自分について、そしてこれからの人生の夢、抱負を参加者の皆さんの前で発表されました。

井原有唯さんは「今年八月に公務員試験を受け、市職員となることを目指しています」と今後のご自分の進路についてお話しされました。

坂口佳菜子さんは、現在大学生で、管理栄養士を目指しておられ、「今年の九月からは半年間の病院での実習が始まるので、コミュニケーション能力を身に付けたい。それから国家試験合格に向け、地道に頑張りたいです」と、今後ご自身の進む道と抱負について、お話し下さいました。

## 「新成人の方々とご家族。木村市長と」



井原有唯さんのご家族と木村健一郎周南市長



坂口佳菜子さんのご家族と木村健一郎周南市長

## 「歓談しながらお食事中」の風景

その後、皆さんは大道理ほたる工房のお弁当や、豚(猪)汁、デザートフルーツポンチなどを召し上がりながら、歓談されたり、ビンゴゲームや、山田悦美さんのマジックショーをご覧になったりと、楽しく賑やかな新春のひと時を過ごされました。



楽しくお話ししながらお食事されています! マジックを披露されています!

## 【午前。新年会準備風景です!】



右の写真は新年会準備風景です。男性陣は会場前面に飾るペーパーフラワーを作っておられます。真ん中の写真は、会場のテーブルごとに飾る花を秋貞啓子さんがご準備されているもの、そして、豚汁を作られている山本並子さん。

穏やかな始まりとなった平成二十八年。

この一年が皆様にとって幸多い晴れやかな年となりますように。

## 大道理をよくする会からのお知らせ

### ★今年の歩け歩け大会は「ノルディックウォーキング体験とお菓子ウォーキング」

★2本のポールを使って歩く運動で、場所を選ばず、どこでも手軽に楽しむことができます!

★高血圧、糖尿病などの生活習慣病が気になる方、運動不足の方におススメ! 姿勢も良くなり元氣ハツラツに!



日時: 平成28年 2月11日 (祝)

午前9時~12時

場所: 大道理夢求の里交流館下の広場

※雨天の場合は体育館に集合(内容に変更あり)

参加費: 百円

## 夢求の里交流館からのお知らせ

### ミニサロンのお知らせ

日時: 2月10日(水)

13時30分~16時

場所: 大道理夢求の里交流館 大会議室

対象者: 男女年齢問わず どなたでも歓迎

備考: ご希望の方は、送迎をいたします

### サロンのお誘い

日時: 2月24日(水)

10時30分~16時

場所: 大道理夢求の里交流館 大会議室

対象者: 男女年齢問わず どなたでも歓迎

ご希望の方は、送迎をいたします



## 編集後記

平成二十八年は「むくろじ」一面の原稿でも特集しました。大道理地区最高峰「大高神山」の年頭登山で幕を開けました。まだ夜明け前の真つ暗な山道を、懐中電灯片手に登っていく感覚はとても不思議でした。初めての「大高神山」の年頭登山、そして十年ぶりの登山だということ、周囲の景色が見えない暗がり、先が見えないことへ不安もありましたが、年の初めに山に登るということは、自分の今までの人生には無い出来事で、子どもの頃、目的地を決めずに、友達と自転車で、初めての場所に遠出するような感覚があり、様々な要素のドキドキを抱えて登りました。途中、ちょうど山の中腹あたりで、日頃の運動不足がたたり、いよいよバッテリー切れ寸前となり、年頭登山の参加表明をしたことを内心密かに悔やみかけました。また、息も絶え絶えの状態の私とは対照的に、歌を歌ったり、楽しくおしゃべりしたりしながら、力強い足取りで山を登っていく若者たちの姿を見て、「若いわあ...」と驚き、齢をまた一つ重ねたことを実感させられました。しかし、ちょうど体力的に一番苦しかった時に偶然、井上正彦向道支所長とご家族の方に出会って、後ろを付いていかせてもらい、自分のペースで無理なく登り始めると、思いのほか体が楽になり、無事、登頂できました。山頂では、人生初の雲海を目の当たりにし、清々しく美しい「来光を仰ぐ」ことが出来、途中息苦しかった辛い記憶はどこか遠くへ消えていきました。大道理の山といえど「大高神山」と大道理地区の皆さんがずっと答えるであろう、地元の方にとって、馴染みがあり、愛着ある山に、毎年年頭登山する伝統があることは、とても素敵なことだと感じます。本文中でも触れましたが、下山の時に見た、登る時には見えなかった景色は、とてもきれいで清々しく、「大高神山を守る会」の皆さんの手できれいに整えられて、こうして安全で、心地よく登ることができたことを実感しました。暗がりでは分からなかったけど、登山道はこんな風になっていたんだなあ、帰り道はゆつくりと、景色を愛でながら、山歩きを楽しむことが出来ました。数年ぶりに実施できた「年頭登山」。参加させて頂くことができ、とてもありがたかったです。「守る会」皆さん、大道理体育振興会の皆さん、ありがたうございます! 夢求の里交流館は、今年が二年目です。今年も大道理の皆さんのお力をお借りして、進んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。(山縣あきこ)